

## 【緊急医療支援チーム、第2班としてハイチへ】

---

国際医療救援部看護師 矢野 佐知子

2010年2月21日から3月26日までの約1ヶ月間、第2班のメンバーとしてハイチでの活動に参加しました。第2班の主な活動は「クリニック(2か所)」「予防接種キャンペーン」「巡回診療」の3つです。寒い日本からいきなり暑くて(最高気温は45℃?)日差しが厳しいハイチでの活動。1日が終わるころには真っ黒に日焼けして、ヘトヘトになることもありました。

予防接種の主な対象は難民キャンプに住む人々です。ハイチ赤十字社が訓練した看護学生、医学生20人前後がチームとなりキャンプを訪問し、テントを立て、いざ開始です。学生たちとメガホン片手に難民キャンプを練り歩き、陽気なダンスと共に歌を歌って呼び込みをします。「予防接種をしないと死ぬぞー! さあ、うつかー?」と勢いよく呼びかけると、子供たちはつられて「おー」と返事をし、笑顔で集まってきます。最終的に、日赤は約1ヶ月間で35,217人の方々に予防接種を行いました。

この活動に参加してくれた学生たちの多くも、実は地震による被害を受け難民キャンプで生活しています。しかし、そのような状況でも一生懸命活動に協力してくれました。地震から約2か月、現地は想像していた以上に活気がありました。

クリニックや巡回診療においても現地の方々と触れ合うことが多く、ハイチ人の温かさやパワーをひしひしと感じた1ヶ月でした。

今回の活動は大阪赤十字病院からの派遣が多く、過去最高(?)の7人がハイチに集合しました。初めての国なのに慣れた風景…少し違和感もありましたが、心強く1カ月を過ごすことができました。当事業の活動は第3班へと引き継ぎ、現地の状況に合わせて数カ月間継続する予定となっています。

予防接種キャンペーン テントを設置して開催しました



ハイチ赤十字ボランティア



他の赤十字社のスタッフと話し合い



クリニックで処置中

